
墮

潮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
墮

【コード】
N2118P

【作者名】
潮

【あらすじ】
人を愛するということとはこんなにも醜くて儂い

愛情の果て

間違っていたのは僕の方なのか それは今となっては分からない。ただ薄れていく意識の中で僕は彼女の名を呼んだ。

秋の風が街を通り抜ける。とは言うもののこの自然の無い都会の中では通行人の服装位しか季節を感じることは出来ない。

僕は足早に目的地に向かう。春先は上京したばかりで人ごみの中を歩くのさえ苦勞したものの、今はいくらか慣れたように思える。

「渚！」

僕を呼ぶ透き通った声、香織だ。

香織は僕が東京に来て初めて出来た友達であり、今は恋人でもある。

「おはよう」

何気ない挨拶。だがそんな事ですらこの上無い幸せに思える。挨拶を返した。

2人で世間話をしながら駅に向かった。駅に着くとお互い違う電車に乗るために別れなければならない。

香織は大学生だが、僕は違う。去年受験に失敗した僕は、予備校に通う浪人生なのだ。

香織はそんなこと全く気にしていないが、僕は違う。大学生にはサークル活動もそれに伴い飲み会等も存在する。

不安で仕方がなかった。

その不安がきっかけになることは予想出来た。だが止める事などできなかつたのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2118p/>

墮

2010年11月29日13時11分発行